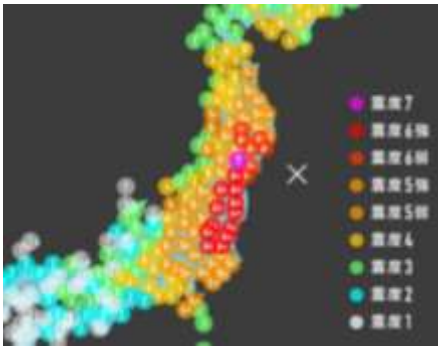


東日本大震災から14年。人々を襲った大地震について考えましょう。

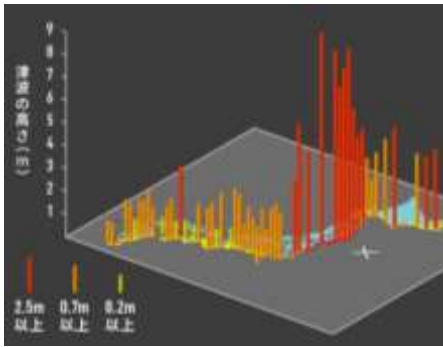
地震の規模

地震



震源地は岩手県から茨城県まで及び、東日本を中心に、北海道から九州まで広い範囲で激しい揺れが襲った。マグニチュードは日本観測史上最大規模の「9」と発表された。

津波



地震発生から3分後、宮城県で「6m」と津波警報が発表された。実際観測された最高値は、福島県で「9.3m」であった。津波の痕跡からは岩手県で「16.7m」と推定された。

被害



死者・行方不明者の99%が岩手・宮城・福島に集中している。また、死因の9割が溺死で、大津波による被害の大きさを表している。死者の約7割が60歳以上であったと記録されている。

出典 Yahoo!JAPAN「東日本大震災から10年の歩みと未来」

被災地の現在

原発事故の影響（2025.2.5現在）



避難した人の数 16.5万人
今も避難している人の数 2.6万人

避難解除区域での居住率は30%に留まり、今も多くの人が戻れない、もしくは戻らないという現実がある。

出典 復興庁

自助と共助

「自助」「共助」「公助」の3つのうち、自助で助かる命が7割といわれています。自助のために必要なことは何でしょうか。みなさんはどの程度備えられていますか。

	自助 7割 自分(家族)の命は自分(家族)で守る
	共助 2割 自分達(地域・組織・グループ)の命は自分達(地域・組織・グループ)で守る
	公助 1割 行政機関等(消防・警察・自衛官など)が守る



家具の置き方を工夫できていますか？



食料などの備蓄は十分ですか？



非常用バッグは準備できていますか？



安否確認の方法は決まっていますか？



避難場所や経路は確認できていますか？

